



所長新任挨拶

今年4月より鳴門教育大学小学校英語教育センター所長を担当しております山森直人と申します。まずは、私ことですが、平成13年（2001年）10月、鳴門教育大学言語系（英語）教育講座（現・言語系コース（英語））の英語科教育学担当教員として着任し、今年で16年が経とうとしています。元々は広島県の高校英語教員をしていたこともあり、着任後はおもに中学・高校の英語教育に関する研究をしておりましたが、小学校に英語活動や外国語活動が導入された頃より、少しずつ、小学校英語に関する研究も進めてきました。おもには、教室英語（クラスルーム・イングリッシュ）の使い方について研究し、その成果を教員養成や教員研修において活用してきました。

さて、ご存じのとおり、今年3月に学習指導要領が改訂され、平成30年度からの移行期間を経て、平成32年度より、3,4年次には外国語活動が、5,6年次には教科としての外国語科が全面実施されます。このような流れの中、小学校英語教育センターでは、これまで同様、小学校英語教育に関する先駆的な実践研究や指導法・教材開発を進めるとともに、地域のニーズに応えるべく、さまざまな形での教員研修の場を提供していきます。また、そのような場を通じて、小学校英語教育関係者間のネットワークを広げ、授業のアイデアや課題を共有していきたいと考えております。

小学校英語教育について、お手伝いできることがございましたら、ご遠慮なくお声がけいただければありがたく存じます。地域の小学校英語教育をいっしょに創っていきましょう。

鳴門教育大学小学校英語教育センター所長 山森直人

センター教員新任挨拶

小学校英語教育センターコーディネーター（特任講師）の佐藤美智子です。鳴門市教育委員会と鳴門市林崎小学校で小学校外国語教育に携わってきた経験をもとに、少しでも皆様のお手伝いのできればと考えています。どうかよろしく願いいたします。

（佐藤美智子）



小学校英語教育センター講師の喜多容子です。アメリカのシアトルパシフィック大学院で英語教授法を学びました。小中連携を専門としています。よろしく願いいたします。

（喜多容子）



『英語教育相談室 創刊号』（光村図書2017年5月発行）に本学附属小学校と小学校英語教育センターとの英語教育の取り組みが紹介されました！

特集「どうする？小学校英語」の中で附属小学校と小学校英語教育センターとの英語教育の取り組みが『授業リポート「Special Pamphletを作ろう！」』として掲載されました。

新しい学習指導要領では「聞く」「話す」に加え、「読む」「書く」を含めたコミュニケーション能力の育成が求められています。本学附属小学校では、3・4年生で英語の音声に慣れ親しむ活動を行い、5年生から「読むこと・書くこと」を取り入れた活動も行っていきます。

今回は、「先生を紹介する文を英語でつくる」という5年生の授業が紹介されました。



光村図書のホームページからはPDFデータで全ページが閲覧できるようになっています。ぜひご覧ください。

光村図書 英語教育相談室のページ

http://www.mitsumura-tosho.co.jp/kyokasho/s_eigo/sodan/01.html



小・中学校英語教育研修のための講師派遣

A

吉野川市西麻植小学校で、平成29年5月10日(水)に、5年生の学級担任とのチームティーチングで外国語活動の授業を実施しました。(単元は、「Hi, friends! Lesson1 友達と名刺交換をしよう」事前にメール等で指導案の検討をしたり、訪問当日の昼休みを使って授業細案の最終打ち合わせをしたりしながら、授業へと至りました。

担任の尾崎先生を全面的に信頼している子どもたちは、初めて一緒に授業を行うJTE(喜多)に対しても、終始笑顔絶やさずに、積極的に活動に参加してくれました。児童の振り返りシートからも肯定的な意見が聞かれ、子どもたちにとって有意義な活動となったことが伺えました。

☆ わかった＆気付いた＆やってみたい＆その他 今日のコメント
 嬉しな笑顔を見たし楽しくなりました。
 家族や他校の人にもやってみたいと思いました。
 とても楽しかったです。



授業後、研修主任の後藤先生と共に、「小学校外国語活動の進め方」についての研修も行いました。「児童のために、指導力とともに英語力もブラッシュアップしたい。」と願う先生方の熱い思いが伝わりました。これからも様々な形で先生方のサポートを続けていきたいと思えます。(喜多)



B

6月1日(木)、茨城県鹿嶋市教育センターにて実施された、「第2回鹿嶋市小中学校英語教育推進協議会研修会」の中で、「小学校英語教科化に向けた『読み書き』の指導についてー鳴門教育大学附属小学校の取り組みからー」と題して、教科化によって開始される「読む」「書く」ことを、今後授業でどのように扱うべきかについて、理論と実践を含めて話をいたしました。

平成25年度より本学小学校英語教育センターと附属小学校・中学校で研究してきた「先駆的でかつ持続可能な小学校英語教育プログラム」を、今年度より、鹿嶋市教育委員会が採用し、本センターも関わらせていただく協力体制を築くことができました。本センターで開発したDVD「アルファベットの大文字・小文字を覚えよう」「アルファベットの音を覚えよう」、評価のための小冊子「My Language Passport」を全小学校で活用していただき、その実践結果から、児童、生徒の英語への興味・関心の度合いや、英語力の向上等を検証する予定です。

研修会の中で、「アルファベットの大文字・小文字を覚えよう」のDVDは、中学校の先生方も大変興味を示され、中学1年生の初期の文字指導での活用の可能性も広がる結果となりました。今後も鹿嶋市には研究授業や研修会で年数回足を運び、先生方の英語指導力と、子どもたちの英語力向上の一助となるように尽力していく所存です。(畑江)

